

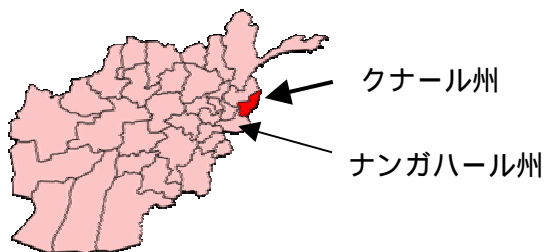
アフガニスタンの洪水被災者緊急救援報告

2010年7月31日 アフガニスタン国クナール州

報告者：ワヒド・ザマニ シャンティ国際ボランティア会アフガニスタン事務所副所長

対象地域クナール州の概要

クナール州はアフガニスタンの東部に位置し、南はナンガハール州、東はパキスタン国境に接している。SVAの事務所があるナンガハール州の州都ジャララバードから50キロはなれている。



クナール州の86%は山岳部と丘陵からなる。2006年の統計では、クナール州の人口は約50万人で、95%がパシュトゥン人、5%がヌーリスタン人である。96%は農村部に、4%は都市部に住んでいる。

クナール州には美しい山、密林、河があったが、30年間続いた戦闘により、木は伐採され、反政府グループやテロリストはアメリカ軍との戦闘を続けている。

クナール州の被害状況

1週間に及ぶ強いモンスーンの影響で、アフガニスタン東部では15,000戸以上の家屋が破壊され、約400人が洪水で亡くなった。

クナール州に隣接するナンガハール州、ラグマーン州と比較して、同州は大きな被害を受けている。洪水と増水した川の水により約2,000戸が全壊した。現在、2,500世帯が、テントや親戚の家に避難している。約100人が命を落とし、子どもと女性を含む20人が行方不明となっている。



流された橋

人々は「20年にわたりこのような洪水がなかったために備えをしておかなかった。また最も被害を受けたのは川の近くに家を建てた家族だ」と語っている。電気供給はストップし、多くの道が、閉鎖された。

橋は破壊され道が閉ざされていたため、警察はヘリコプターを使い、洪水の被災者の救援にあたった。



被害にあった市場

SVAの緊急救助活動

7月31日、SVA アフガン事務所の副所長ワヒド、学校建設事業課職員ハシュマットとシャリフの3名は被災地区を訪れ、地域リーダーとサーカノ郡バナイ村にある難民キャンプの被災者に対する初動援助について話し合った。この難民キャンプでは、以前パキスタンに逃れていたアフガン難民が、パキスタン軍と反政府武装勢力との間の紛争のため、3年前にアフガン側に戻り、河沿いに自分たちで家屋を建てて生活している。

地域リーダーは被災者の家族のために、早急の食糧配布をSVAにお願いした。このキャンプで支援活動を行っているNGOはない。

ハシュマットは、被災地や被災者の写真を撮ること、救援物資の購入。シャリフは、記録と物資の購入。ワヒドは、地域のリーダーとの話し合いと、すべての作業の統括を行うことにした。

この地域の1,200世帯が被害を受けたが、SVAの予算(3,000ドル)では135世帯への食糧の配布などの救援支援しかできない。地域のリーダーと話し合いの上、被害が大きい世帯、子どもがいる世帯を対象に支援をすることにした。

各世帯にトラックで食糧を運ぶのは不適切な方法なので、地域リーダーの家で食料配布を行うことにした。

調査と食料配布は、写真を参照。

配布した物資と予算は以下の通り。

	物資	量	単価(パキスタンルピー)	数量	合計(パキスタンルピー)
1	米	1世帯 40kg	1,600	135	216,000
2	油	1世帯 3kg	250	135	33,750
3	輸送費	2代の小型トラック	8,000		8,000
					257,750Rs
					=\$2,997



米と油の配布を行う。

地域リーダー アザトゥラ・サフィ氏のはなし

洪水の被害者リストを NGO、政府、国際治安支援部隊（ISAF）に送りましたが、どこからも返事をもってきていません。SVA がここに駆けつけて、被災者に食糧を支援してくれた最初の NGO です。SVA の支援に心から御礼申し上げます。